

推薦調書（アイデア部門）

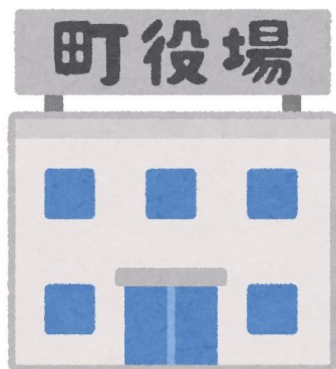
推薦都道府県

福岡県

地方公共団体名	芦屋町		
アイデア名称	高齢者へのスマホ端末貸与によるデジタルデバイド解消事業		
連携自治体、企業、団体等	デジタル活用支援講習会実施団体		
デジタルを活用したアイデアの概要（デジタルを活用したアイデアの全体概要と解決する個別課題の具体的な内容）	(種類)	②	(左記が①の場合の分野)
	<p>【デジタルを活用したアイデアの全体概要】</p> <p>○ 人生 100 年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金（公益財団法人地域社会振興財団）を活用して、スマートフォンへの移行が済んでいない高齢者にスマートフォンを 6 ヶ月間貸与し、その間に利用講座を受講させることで円滑なスマートフォンへの移行を進めるとともに、講座受講者が地域の高齢者コミュニティにおけるスマートフォン利用に関するアドバイザー的な人材となるよう育成する。</p> <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <p>○ 大手携帯キャリアの 3G 回線契約（いわゆるガラケー）の終了が迫っている中で、未だスマートフォンへの移行が済んでいない高齢者が散見されることから、円滑な移行を支援するとともに、利用講座を通じてマイナンバーカードの発行・利用等を支援することで、高齢者における行政手続のオンライン化等を促進する。</p> <p>【解決する課題の具体的な内容】</p> <p>○ 大手キャリアでは、遅くとも令和 8 年 3 月末までに、ガラケー向けサービスの提供を終了することが予定されており、引続き携帯電話の利用を希望する場合は、基本的にスマートフォンに移行する必要があるが、高齢者の中にはデジタル機器に不慣れで、どのような機種を購入すればいいのか、購入した後に活用できるのか不安を持っている者も多いため、これらの不安解消を目指す。</p>		
デジタルの活用により目指す成果（数値）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者を対象等とするスマートフォン利用講座受講者数 60 人 ・ マイナンバーカード新規発行枚数（単年度） 120 枚 <p>※受講者が全てマイナンバーカードを未取得であり、さらに、1 人以上の家族や知人等に取得方法を伝達することを想定。</p>		

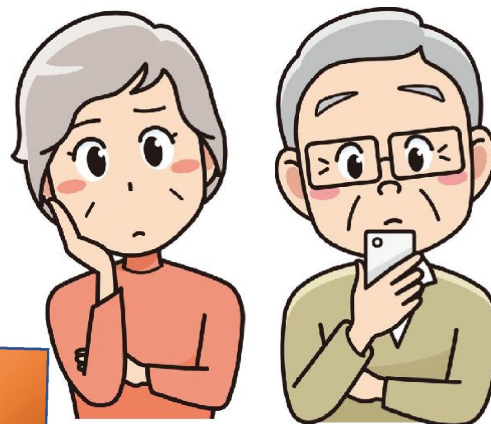
本アイデアの特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点	スマートフォンを保有していない人が講座を受講できるように、町が通信事業者と利用契約を結んだスマートフォンを貸与することにより、スマートフォンへの移行をためらっている高齢者が持つ不安を解消し、円滑な移行につなげる。
今後の展望	講座受講者が、地域の高齢者コミュニティ内でスマートフォンの利用方法、マイナンバーカードの取得やオンライン申請等のアドバイザーとなり、高齢者におけるDXが進展することを期待する。

「高齢者へのスマホ端末貸与によるデジタルデバイド解消事業」概要図



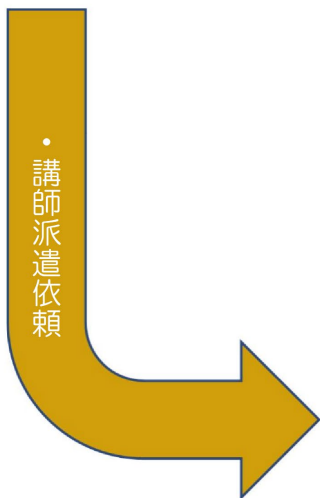
芦屋町

- ・スマートフォン端末の貸与（6ヵ月）
- ・スマートフォン利用講座の実施



スマートフォンの利用に不安のある高齢者

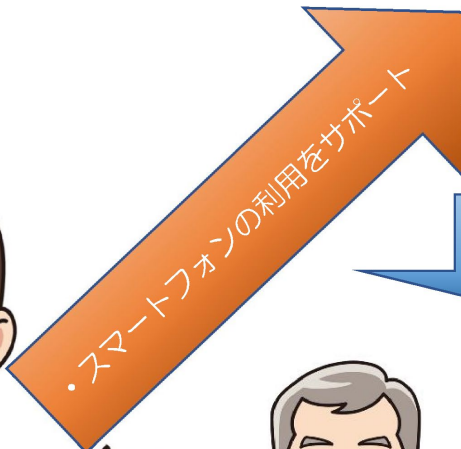
知識の伝達



講師派遣依頼



デジタル活用支援講習会実施団体講師



スマートフォンの利用をサポート



地域の高齢者コミュニティ